

災害への備えは万全ですか？

7月に大雨が降り、全国的に大きな被害が発生しました。これからは台風シーズンが到来します。自分や家族の命を守るためにどういう備えをする必要があるのか、いま一度、皆さん一緒に確認していきましょう！

問くらしの安全課（氷上庁舎内） ☎ 82-0250

私たちと一緒に確認していきましょう！

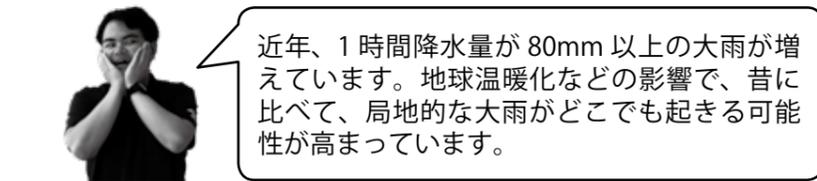


災害時や災害の発生が予想される場合には、正確な情報を確実に知ることがとても大切です。

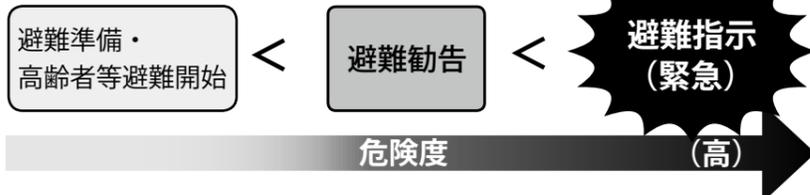
知る

知っていますか？雨の強さの表現

1時間に降る雨の量	雨の降り方と予想される被害	
「やや強い雨」 10～20mm 未満	ザーザーと降る雨。長雨になりそうなら警戒が必要です。	H16.10 台風 23 号
「強い雨」 20～30mm 未満	土砂降りの雨。小さい川ならはん濫またはがけ崩れの心配があります。	H30. 7 豪雨
「激しい雨」 30～50mm 未満	激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。避難の準備を。	H26. 8 丹波豪雨
「非常に激しい雨」 50～80mm 未満	寝ている人の半数が気づくくらいの激しい雨。多くの災害が発生します。	
「猛烈な雨」 80mm 以上	息苦しくなるような圧迫感を感じる雨。大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。	



避難情報の種類は3種類！



避難勧告より避難指示の方が緊急度が高いんだね。避難情報などが発表されていなくても、状況に応じて自主的に避難することが大切だね。



避難指示（緊急）が発表された時は、状況に応じて避難所に移動するか、建物の2階以上に垂直避難しましょう！

市内の土砂災害警戒区域は1,461箇所！

防災マップで近くの危険場所を確認することができます。また、兵庫県のCGハザードマップは県内の危険な場所や雨量、河川の水位がわかります。スマートフォンからアクセスすると現在地も表示できます。お住まいの地区の防災マップを事前にチェックしておきましょう。

県CGハザードマップQRコード



防災情報の入手方法を確認しましょう！

1 防災行政無線放送

避難情報や避難所開設情報、事前の注意喚起など、命を守るための情報を各家庭に放送します。

防災行政無線戸別受信機は、各家庭に1台無料で貸し出しています。柏原・氷上・春日・市島地域で更新予定の戸別受信機



2 防災メール

携帯電話やスマートフォン、パソコンに災害情報や気象警報などを配信します。

【配信する情報】

- 気象情報…警報・注意報など
- 避難情報…避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）
- お知らせ情報…避難所の情報など

【事前登録が必要です！】

登録は簡単！
tamba@bosai.net に空メール



丹波市防災メール登録用QRコード

3 地デジテレビ（データ放送）



災害時に丹波市が発信する避難情報や避難所開設情報、河川の水位、雨量などの情報をNHK神戸放送局やサンテレビジョンのデータ放送を通じて、いち早くみなさんに伝えます。

4 ホームページ

災害時には、ホームページのトップページの「重要なお知らせ」「災害・規制情報」に避難情報や避難所開設情報、道路規制情報などを掲載します。

5 防災マップ

災害時における避難の目安・危険な場所・避難所・持ち出し品を確認できます。防災マップは、くらしの安全課や各支所窓口には配置しています。

6 その他

フェイスブックやLINEなどのソーシャルメディアで随時、防災・災害情報を提供しています。※情報を受信するには、アカウントを取得する必要があります。



備える

いざという時のために日頃から必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

事前に準備・確認しましょう！

1 非常時持出袋

避難が必要になった場合に備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。リュックサックなどにまとめて、玄関などのいつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。年齢や健康状態に合わせて自分に必要なものをよく考え、荷物は最小限に！



2 家族との連絡方法

家族がバラバラの時に災害が起こった場合、家族と確実に連絡をとる方法を決めておきましょう。

- 災害用伝言ダイヤル（171）※固定電話向け
固定電話で171を押すと伝言を音声で録音、再生できます。
- 災害用音声お届けサービス※携帯・スマホ向け
携帯電話・スマートフォンに内蔵のアプリなどを利用して安否情報を録音し、特定の相手に届けます。

避難の心得を確認しましょう！

- 長靴は水が入ると歩けなくなります。運動靴を履きましょう。
- 普通自動車は30cmの浸水で走行困難になります。自動車での避難はやめましょう。
- 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所に避難しましょう。
- 日頃から、いざという時にどう行動するのか、家族や地域の人々と相談し、慌てずに行動できるようにしましょう！

